

# YUIMA NAKAZATO

## BIRTH

COUTURE  
AUTUMN/WINTER 2019-2020

### 2019 / 20 年秋冬クチュールコレクションを Spiber と共に発表

YUIMA NAKAZATO は 2019 年 6 月 30 日、Spiber と全面的にコラボレーションし制作した 2019/20 秋冬クチュールコレクションを、パリで発表しました。

YUIMA NAKAZATO は、本コレクションにおいて「オートクチュールは本質的にサステナブル」であると宣言。コレクションを構成する全ルックで Spiber により新たに開発されたサステナブルな新素材「プリユード・プロテイン™」<sup>[1]</sup>を使用し、これからオートクチュールが果たすべき人と地球のサステナビリティに対する役割を最大化する、というビジョンを示しました。

デザインにおいては、伝統的なハンドニッティングと最先端のデジタルファブリケーションを組合せ、個性と多様性への賛美、文化や歴史の尊重、そして美しさとサステナビリティの調和を表現することに挑み、特徴の異なる様々なプリユード・プロテイン™または、プリユード・プロテイン™ブレンドのテキスタイルをガーメントによって使い分けました。

さらに、Spiber との一連の取り組みにおいて、特別に設計されたプリユード・プロテイン™テキスタイルを、デジタルファブリケーションにより精密にコントロールすることで、様々な三次元テクスチャーをつくりだすことができるテキスタイル造形技術「バイオスマッキング」<sup>[2]</sup>を開発。これまでにない衣服の立体表現を可能にしました。

また、全てのガーメントは 99% 植物由来の樹脂でできた特殊なビスによりピースとピースを繋ぎ合わせる独自のシステム「TYPE-1」<sup>[3]</sup>によりつくられました。TYPE-1 によりつくられた衣服は、傷んだ箇所の修繕やサイズ調整を簡単におこなえるため、ユーザーは衣服を長きにわたって大切に着用することができます。

ランウェイには“大地の生成”を主題にアーティストスタジオ THE EUGENE Studio によって構想された彫刻作品「Goldrain」を配し、混沌から誕生する新たな希望と美しい未来の姿を表現しました。

---

#### <sup>[1]</sup> プリユード・プロテイン

Spiber が生み出したサステナブルなプロテインマテリアル。独自のテクノロジーによりアプリケーションごとにテラリングされたプリユード・プロテイン™はプリユーイング（微生物による発酵）によりつくられるため、原料を石油や動物に頼らないサステナブルでエシカルな新素材として、アパレル、輸送機器、建築資材、人工毛髪、医療機器など、様々な分野での展開が期待されている。

#### <sup>[2]</sup> バイオスマッキング

特別に設計されたプリユード・プロテイン™テキスタイルをデジタルファブリケーションにより精密にコントロールすることで、様々な三次元テクスチャーをつくりだすことができるテキスタイル造形技術。特許出願中。

#### <sup>[3]</sup> TYPE-1

YUIMA NAKAZATO が開発する衣服のプロダクションシステム。針と糸を使わずに、衣服の形やサイズを短時間でカスタマイズでき、素材の変更、修繕、そして成長などの身体の変化にも対応する。ピースとピースを繋ぎ合わせるための特殊なビス（attachment unit）は、環境に配慮した 99% 植物由来の樹脂を使用。

PROFILE

---

YUIMA NAKAZATO

ユイマ ナカザト

2011年、東京で初めてのコレクションを発表。2016-2017年秋冬シーズンからは、パリ・オートクチュールでコレクションを発表している。「やがて衣服は1点物しか存在しなくなるでしょう」これは、YUIMA NAKAZATO が想像する人類の未来の姿である。クラフトマンシップとテクノロジーが調和した革新的な服づくりにより、一人一人の個性に合わせた衣服を、より多くの人に届けることを目指している。

中里 唯馬

中里唯馬は、1985年生まれ。2008年、ベルギー・アントワープ王立芸術アカデミーを日本人最年少で卒業。2015年に「株式会社 YUIMA NAKAZATO」を設立。2016年7月には日本人として史上2人目、森英恵氏以来となるパリ・オートクチュール・ファッションウィーク公式ゲストデザイナーの1人に選ばれ、コレクションを発表。その後も継続的にパリでコレクションを発表し、テクノロジーとクラフトマンシップを融合させたものづくりを提案している。

Spiber

スパイバー

サステナブルな新素材を開発するバイオベンチャー。独自開発するプロテインマテリアル「ブリュード・プロテイン™ (Brewed Protein™)」は、ブリューイング（微生物による発酵）によりつくられ、原料を石油や動物に依存しないため、アパレル分野や輸送機器分野における脱マイクロプラスチック・脱アニマルのニーズに対し、大きな役割を果たす可能性を秘めている。2007年の設立以来、日本政府などの支援のもと総額300億円以上の資金を調達し、サステナブルなプロテインマテリアルの開発を進める。現在タイに世界最大規模のブリュード・プロテイン™生産拠点を建設中。

THE EUGENE Studio

ザ・ユージーン・スタジオ

日本のアーティストスタジオ。サーペンタイン・ギャラリー（ロンドン）「89+」、資生堂ギャラリー（東京）個展「THE EUGENE Studio 1/2 Century later.」（2017）、国立新美術館「漆黒能」（2019）のほか、アメリカ三大SF賞の小説家ケン・リュウとの共同執筆、資生堂ギャラリー100周年記念展でのイギリスの建築家集団アッセンブルとの展示など。そのほか人工知能や都市、バイオテクノロジー領域他の研究開発等に招聘され、2017年に出版された『アート×テクノロジーの時代』（宮津大輔著、光文社新書）ではチームラボとともに日本を代表する四つのアーティストとして特集される。

---

本リリースに関する報道関係者様 お問い合わせ先

株式会社 YUIMA NAKAZATO 土橋  
toshitaro@yuimanakazato.com

各者に関する報道関係者様 お問い合わせ先

Spiber 株式会社 広報室 浅井  
contact@spiber.jp

THE EUGENE Studio 広報 橋口  
khashiguchi@hashibi.co.jp